

3月定例会日程決まる 18歳までの医療費無料化へ



米原市民報

日本共産党米原市議員
山脇正孝 Tel.52-1093
日本共産党米原市議員
藤田正雄 Tel.55-1527

<http://www.jcp-maibarashigidan.com/>

定例会日程決まる

- 2月15日告示・全員協議会
- 2月17日発言通告締め切り
- 2月22日日本会議（議案説明）
- 2月24日代表質問
- 2月27・28日一般質問
- 3月1～3・6・7日総務産業建設常任委員会・予算常任委員会分科会
- 3月8～10日健康福祉教育常任委員会・予算常任委員会分科会
- 3月20日予算常任委員会
- 3月23日日本会議最終日

当初予算の重点取組事業

2023年度当初予算については各会派ごとに説明があり一般会計は222億16百万円（前年度比6.4%増）特別会計は85億37百万円（前年度3.3%増）となっております。市が重点事業と位置づける取組みは人口減少対策として「子ども若者支援」及び「まちの価値を創造」として以下の事業を挙げています。問題のある事業もあり、予算委員会等で明らかにしていきます。

子ども若者支援

◎18歳までの医療費無料化事業
・今までの中学卒業を高校



3月定例会の日程が14日の議会運営委員会で決まりました。執行部提出の議案は同意4件と議案27件となっております。議案のうち2023年度当初予算案で注目される事業の概要を掲載します。当初予算と補正予算は予算分科会、予算常任委員会の審議の後本会議で議決されます。その他条例等の議案については後日に掲載します。

卒業までに拡充する。本年10月から4か月分655万5千円

- ・証明書コンビニ交付サービス事業
- ・スマート農業推進事業
- ・スマートフォン講習開催事業

◎所得制限の撤廃
・給付型奨学金事業
・中学生応援事業（入学金・部活動用具購入補助金）

引き続き子ども均等割減額

◎国民保険税の子どもに係る均等割額の減額措置
（18歳以下の子どものに係る均等割を実質ゼロとする応援金） 1,211万円

◎保育環境の充実
・民間保育所保育士処遇改善事業および経営安定化事業 507万円

紙おむつ持ち帰り廃止

・使用済み紙オムツ処分 622万円

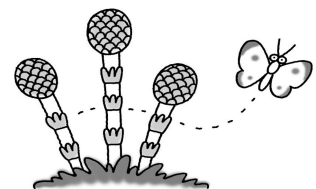
◎伊吹高校生通学支援事業 180万円
（近江長岡駅から伊吹高校に通学する伊吹高校生にバス、まいちゃん号共通の月6千円の通学定期の創設）

まちの価値を創造

◎脱炭素地域づくり推進事業 8億19百万円
◎デジタル化の推進
・市民のくらしと行政運営のDX推進



写真は2月11日市議会議場、生徒会と米原高校の「すきまちのワークショップ」の様子です。



雑感

今回の子ども医療費の年齢引上げやおむつ持ち帰りについては、12月議会で藤田議員が一般質問をしたばかりです。実現したことは、本間にうれしいことですが、本国保税の子ども均等割は山脇議員が何度か質問で「生まれたばかりの子どもにも課税する」とは税の応負担の原則から言えば不当であると質問をし、市長も人頭税に近いと答弁をされました。本年額措置が行われました。本年度も継続されました。「当たり前」は重要ですが、行政が行うことでは「なぜ」と思うことが重要です。おむつを持ち帰る「なぜ」。生まれたばかりの子どもに税がかかることは「なぜ」こんな思いから、政治は変わっていくと思いません。是非政治の、なげをお寄せください。

雑感

（旅行商品造成支援および体験型観光促進事業）

◎旧常喜医院建物改修・庭園整備事業3,955万円
（国の登録文化財である建物の改修と庭園整備）

◎観光振興事業 4,840万円